

公開シンポジウム「Future Earth 時代における地球表層システム科学と防災・減災研究」  
の開催について

1. 主 催：日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会，  
フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
3. 後 援：日本地球惑星科学連合，日本気象学会，日本大気化学会，日本海洋学会，水文・  
水資源学会，日本地球化学会，文部科学省，環境省，総合地球環境学研究所，国立  
環境研究所
4. 日 時：令和元年8月7日（水）10:00～17:00
5. 場 所：日本学術会議講堂

7. 開催趣旨：

「Future Earth (FE)」や「国連の持続可能な開発目標 (SDGs)」に代表されるように、「人類が持続可能で公平な地球社会にて繁栄する」というビジョンの実現に向けて、社会の様々なステークホルダーとの協働・連携が今日の環境研究には不可欠となっている。特にアジアにおいては、大気汚染による健康被害や人口密集地を襲う自然災害など、早期に解決すべき環境問題が深刻化しており、地球表層システム科学研究や気候変動と関連した防災・減災研究のさらなる貢献が必要になっている。そこで、本シンポジウムの第1部では、FE およびそれを支える主な国際プロジェクト (Global Research Projects: GRP) の現状を共有し、GRP 相互間の学術的連携、並びに人文社会科学者や「知と実践のネットワーク (Knowledge-Action Networks: KAN)」との連携を通じて、地球表層システム科学がどのように進化してゆくべきか、将来展望を議論する。続いて第2部では、アジア域に焦点を当て、進行する温暖化に伴う気候変動を背景として深刻化しつつある異常気象、取り分け豪雨災害や水害などに関する最新の知見、並びに防災・減災へ向けての取り組みの現状を共有する。最後に、今後激甚化する自然災害や深刻化する環境変化を踏まえ、「人類が持続可能で公平な地球社会にて繁栄する」ために、今後人類社会がどう対応すべきかを参加者全員で議論する。

8. 次第：

司会：安成哲三（日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所所長）

10:00 開催挨拶 武内和彦（日本学術会議副会長・第二部会員、地球環境戦略研究機関理事長）

10:05 来賓挨拶 横地洋（文部科学省研究開発局環境エネルギー課長）

10:10 趣旨説明 安成哲三（日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所所長）

第1部：Future Earth 時代における地球表層システム科学研究の新展開

司会：三枝信子（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センターセンター長）

10:15 「Future Earth と GRP および KAN の現状」

春日文子（日本学術会議連携会員、FE 国際本部事務局日本ハブ事務局長、国立研

究開発法人国立環境研究所特任フェロー)

10:30 「IGAC に関する日本主導の研究」

谷本浩志 (日本学術会議特任連携会員、国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター室長)

10:45 「iLEAPS に関する日本主導の研究」

檜山哲哉 (名古屋大学宇宙地球環境研究所教授)

11:00 「SOLAS に関する日本主導の研究」

宮崎雄三 (北海道大学低温科学研究所助教)

11:15 「GLP に関する日本主導の研究」

柴田英昭 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授)

11:30 「GRPs-KANs 連携と国-アジア地域センター連携」

谷口真人 (日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所副所長)

11:45 コメントと討論

コメンテーター 蟹江憲史 (日本学術会議連携会員、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)

コメンテーター 高村ゆかり (日本学術会議第一部会員、東京大学未来ビジョン研究センター教授)

12:15-13:45 (休憩)

## 第2部 気候変動と防災・減災研究の新展開

司会：江守正多 (日本学術会議連携会員、国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター副センター長)

13:45 「変動する大気海洋と異常気象」

中村 尚 (日本学術会議第三部会員、東京大学先端科学技術研究センター教授)

14:00 「衛星観測を用いた豪雨形成機構の新たな理解」

高菰 縁 (日本学術会議連携会員、東京大学大気海洋研究所教授)

14:15 「気候と社会の変化による風水害の激甚化を乗り越えるために」

小池俊雄 (日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センターセンター長)

14:30 「気候変動による河川洪水の変化」

平林由希子 (芝浦工業大学工学部教授)

14:45 「適応策としての浄水技術の新展開」

小熊久美子 (東京大学大学院工学系研究科准教授)

15:00 「気候変動影響、適応策と持続可能な開発」

沖 大幹 (日本学術会議連携会員、東京大学未来ビジョン研究センター教授、国連大学上級副学長)

15:15 「IUGG, IAMAS 100 周年を記念して：地球科学と大気科学の 100 年史から見た現代的課題」

中島映至（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター参与）

15:30 コメントと討論

コメンテーター 米田雅子（日本学術会議第三部会員、慶應義塾大学先端研究センター特任教授）

コメンテーター 西田貴明（京都産業大学生命科学部准教授）

15:55-16:05（休憩）

16:05 総合討論

司会：江守正多（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人国立環境研究所地球環境研究センター副センター長）

16:55 閉会挨拶 安成哲三（日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所所長）

17:00 閉会

（下線の登壇者は主催委員会・分科会等委員）